

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	生麦事件参考館リユースプロジェクト
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	鶴見区生麦 1丁目
提案名 (25字以内)	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※ ¹ を工夫した点※ ² にも触れて記入してください) ※ ¹ 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※ ² 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	私設資料館として愛されてきた「生麦事件参考館」を、地域の人と協力して再開し、歴史と地域の特性を活かしたまちづくりに貢献する施設とする。 開館当時には余り問題にならなかったバリアフリー化も現在では欠落させてはいけない要素になっている。多文化共生・多世代交流の拠点として、生麦地域のまちづくり事業に参加していくため、照明・空調・通信環境などの改修を行ない、何時でも誰もが安心して参考館を利用できるようにして行きたい。 ◎正面入り口 扉の改修 上部の構造物(水漏れの主因)・支柱の改修 情報告知スペースの確保 看板新設 バリアフリー化 ◎1階 入口わきの壁(水漏れ)改修 壁面改修(ピクチャーレール取付) 照明取替え 空調修理(再利用)→10畳分のスペースを有効活用 ◎2階 外階段滑止め 出入口の段差解消 窓の改善 照明・空調の改修 創設者のメモリアルコーナー 棚・大机を置くスペース確保 資料等の収納スペース(天井裏に) ◎中庭・母屋軒下 コンクリート部分撤去して平地化 床下滑り止め イベントで大机設置できるように整備 軒下ギャラリー(絵画等展示) *トイレの設置(不足分を寄付で賄うことも含め検討)
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	参考館の活用・活動は「地域の協力」・「子どもの目から」を基本に行なう ◎1階資料展示スペース…資料を見ながら歴史を学ぶ場 *開館日 週3日(必要に応じて臨時開館) 常時説明員を配置 *説明員・資料整理 ボランティアの協力で 整理は専門家の力を借りる *子どもがく創る> プロジェクターなど機材を使用し自由な学びを体験 ◎2階交流スペース…中央のデスクを使って楽しく交流する場 *大人の小グループ 会議・発表・お喋り etc *子どものworkshop 事件 de カルタ・紙芝居、生麦マップづくり etc ◎参考館の内外で…0から皆で一緒に作る活動 *歴史講座・出張授業 ボランティアとともに(募集し一緒に準備) *“語り部”活動 子どもや地域に伝えたい思いがある人中心に *情報発信(紙・SNS・掲示板など) *地域を越えた企画(商店会・自治会と)鹿児島・英国・旧宿場町サミット *開館日は中庭開放 誰もが気楽に立ち寄れる場

<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>◎地域の概要と課題 *利便性が良い地域(東京・横浜間にあり交通網充実) *多様な地域性(伝統ある生麦・宅地化進む寺尾・商業中心の鶴見中央) *少子高齢化 新規転入・若年世帯増加 商店街の世代交代 外国人の増加 →地域の交流機会・繋がり減少 伝統・慣習の継承者不足</p> <p>◎地域の魅力 *自治会・町内会組織健在 活発な自主活動(新イベント、サークル活動) *伝統的行事の保存(蛇も蚊も、お囃子・甚句保存会)</p> <p>◎新しい交流の拠点・居場所づくり *伝統的祭りの拠点(寺院・神社)や地区センター・ケアプラザ・町内会館など地域には既存の交流拠点が多数あり、他の地域よりも活発な交流が行なわれてきた。 *この活力ある地域で、新しい交流の拠点・居場所として参考館ならではの役割を果たして地域の魅力向上・繋がりの一つになりたいと願っている</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>◎再開館時期 コンテスト終了後工務店と協議し来秋中の再開館を目指す</p> <p>◎DIY実施 地域ボランティアと一緒に楽しく・無理なく 周辺清掃 中庭草刈り 室内片付け(所有者の了承後) 資料の整理(専門家の助言・協力)</p> <p>◎費用削減 修理箇所限定(建物維持・来館者の安全優先) 器材は再利用 必要なものの寄付は地域に協力依頼する</p> <p>◎人材発掘 地域に多数いる専門家 web ニュース編集者・TV関係者、学校関係者、イラスト専門家 金融・経営スペシャリスト その人たちと協力・協働</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>◎スタッフ 当面は現プロジェクトメンバーや地域ボランティアが行なう。 中長期の計画を作成し、安定的運営を行なう過程で地域主体に移行 →ボランティアについては自立まで伴走、有償・保険加入</p> <p>◎維持管理 建物は地域の工務店に 日常の見守りはボランティアに</p> <p>◎参考館の運営 開館は毎週3回(平日・土日+予約日) 地域のイベントの際には臨時開館 スタッフ常駐(歴史の会・見どころガイド・地域や学生ボランティアを募集)</p> <p>◎運営・維持費 *「入館料」(仮称)小学生以上100円・高校生以上200円・高齢者無料 *協賛金募集 地域の内外から幅広く(協賛企業・公的な補助) *自主事業 歴史講座・講演会開催・歴史散歩講座の開催 資料出版 貸室料 物産展・バザー</p> <p>◎来館者の増加 *情報発信 紙媒体・町内掲示板活用 SNS(「これつる」IP) *地域イベントに協力 該当期には特別開館 *その他 出張授業 地域の教育関係者・機関との協働</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

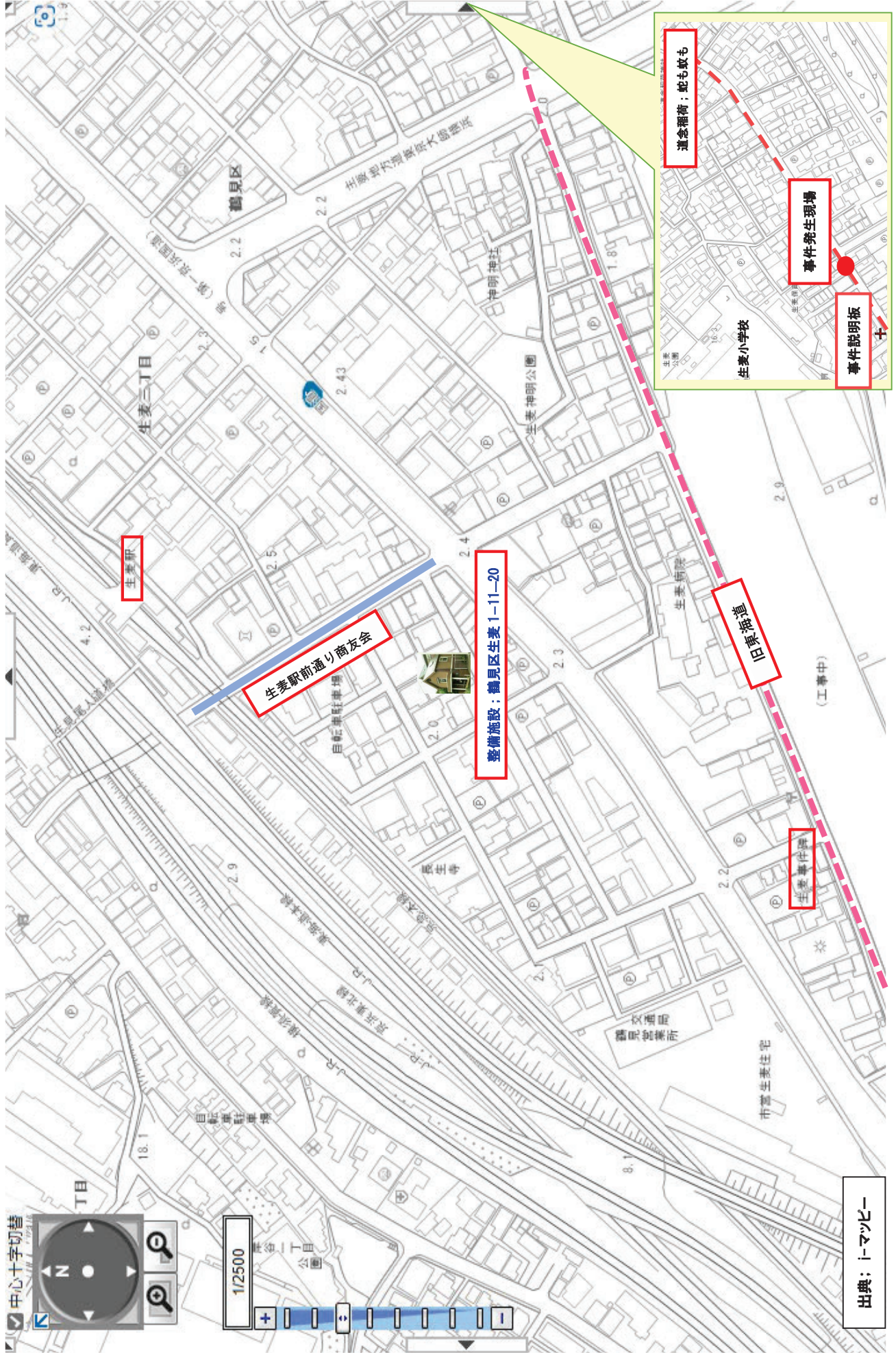
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>◎プロジェクト会議 会議の後半は、各メンバーの考えていることを出し合いそれに基づいて3グループ（参考館内・地域との結びつき・管理運営）に分かれて自由討議し、プランの実現化に向けて動き出している。</p> <p>◎広報活動 10月3日三ツ池フェスティバル、11月3日つるみ夢ひろばin總持寺でチラシ配布とシールアンケート実施。11月14日webニュース編集者とSNSでの情報発信について話し合い、協力の確約を得た。</p> <p>◎地域との協働 空き店舗活用交渉、歴史散策（生麦～居留地～外人墓地 下見・形式・地域と協力の内容検討進める）ボランティア希望者への説明会準備 地域の和菓子屋さん等に「新生麦名物・スイーツ」づくりを相談</p>
<p>関係者の合意・調整状況（地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>◎参考館所有者 了承済み</p> <p>◎近隣住民 10月29日の現地視察後に実施。</p> <p>◎自治会 9月25日生麦第2自治連合会会長会で説明。併せてチラシの掲示・回覧を依頼。</p> <p>◎校長会 10月10日鶴見区内小学校校長会で説明。 (1校から、12月5日に6年生4学級の特別授業依頼あり)</p> <p>◎横浜東ロータリークラブ 鶴見を基盤とするRCで11月8日に卓話（スピーチ）。参加者より資金的見通しについて質問を受ける。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>◎事件関係者との交流について 8月21日、生麦事件碑顕彰会が主催した追悼祭に参加。席上で旧薩摩藩士（事件関係者）のご子孫と挨拶を交わした。追悼祭には英国の関係者が参列したこともある。160余年後も続く追悼祭を多くの人に知ってもらいたい。</p> <p>◎地域に残る事件の記憶について 11月5日、歴史講座で「生麦事件参考館の再開」が報告された後、参加者の1人が事件当時の「生麦村家並図」を手にして「私の家はここ、事件のことは聞いている」と報告者に話しかけてきた。参考館の再開を機に、地域での聞き取りを行ない。次世代に事件の記憶を語り継ぎたい。</p> <p>◎地域との協力・協働について *事件現場や参考館の位置を示す大看板について、設置場所・その内容について具体的な提案が出され取り組みを始めている。 *参考館の説明員をやってみたい、見回りや草刈などで協力したいetcの声が寄せられている。今年中にボランティア説明会を開く予定。</p>
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>◎コミュニティの次の担い手を意図的に育てる地域 小学校教科書から「生麦事件」が消える時代。子どもたちが参考館で事件について学ぶことによって地域の歴史に目を向けてもらい、地域への愛着を育てる</p> <p>◎多文化共生が根付く地域 自治会・商店会、若い人のグループなどと協力して、鹿児島・英国・旧東海道宿場町（川崎・神奈川・保土ヶ谷・戸塚）との交流イベントを創る。</p> <p>◎世代を超えた交流が生まれる地域 年々増加する高齢者、孤立しがちな子育て中の母親など様々な人がフラリと立ち寄り、ゆっくりと過ごせる場所の一つとして参考館を利用する。</p> <p>◎誰にでも居場所がある地域 祭りやイベントには、新旧の住民や外国籍の住民を自然と結びつける力がある。各団体と協働して参考館としての役割を果たしていく。</p> <p>◎誰もが「生麦に住んで良かった」と言えるような地域 参考館は地域のアンテナとして情報を集め発信する。それによって、様々な人が集って交流を深めてより良いコミュニティを形成する。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

生麦事件参考館：位置図



出典：i-マップビー

平面図

<母屋軒下>
イベント用机 軒下ギャラリ-設備
子どもの作業場 多目的スペース

母屋軒下
中庭
<中庭>
花壇撤去
平地化
駐車場立入禁止

ここを利用して
地域の情報交換

ピクチャレール

扉修理

扉修理

壁水漏れ?

本棚

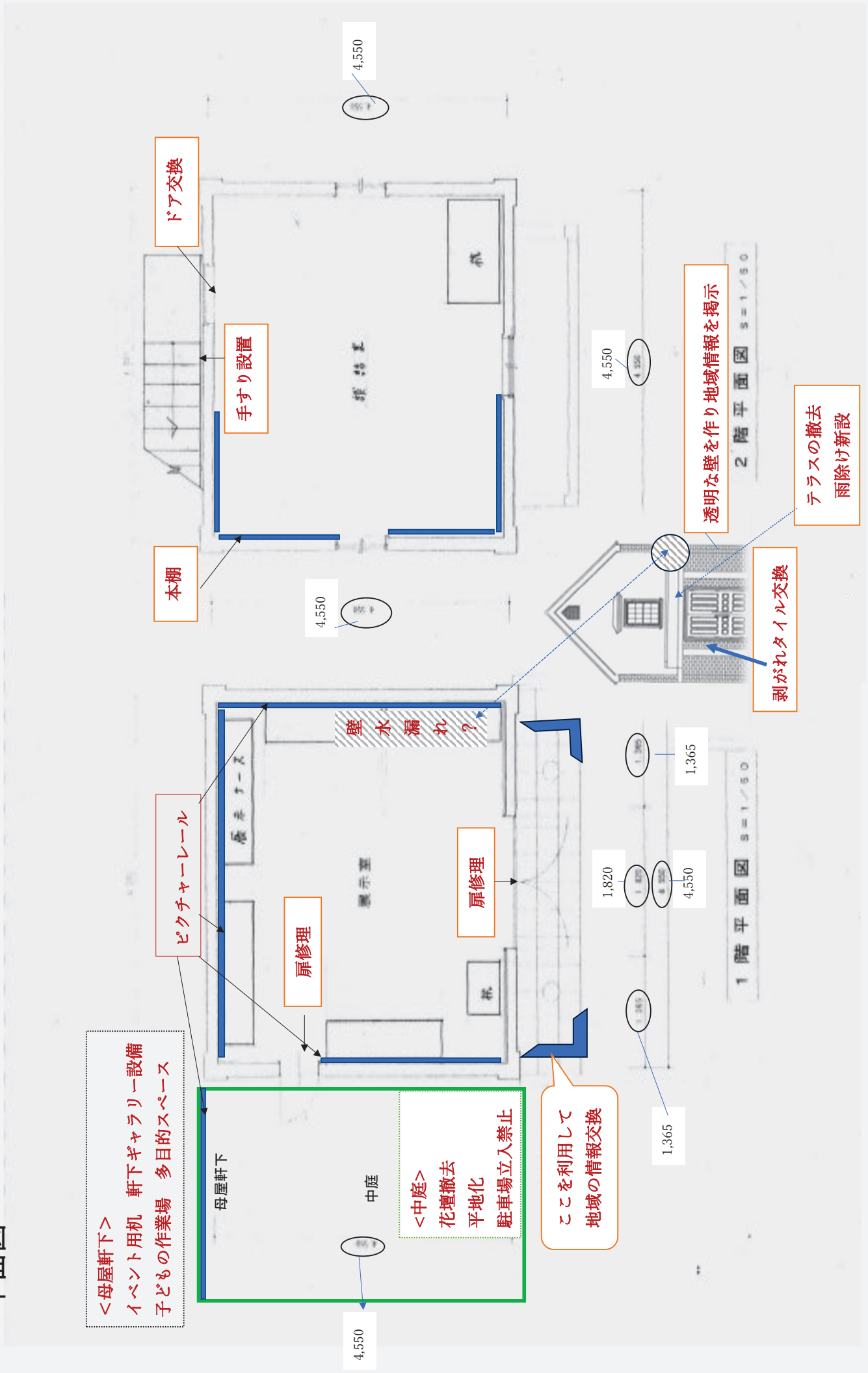
手すり設置

ドア交換

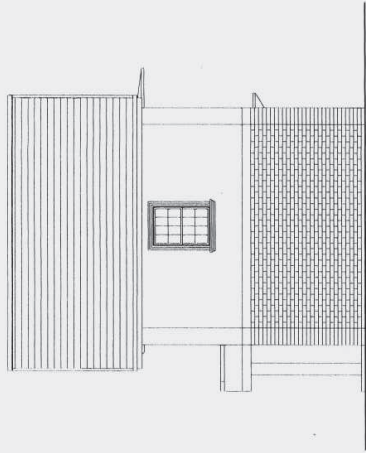
剥がれタイル交換

透明な壁を作り地域情報を掲示

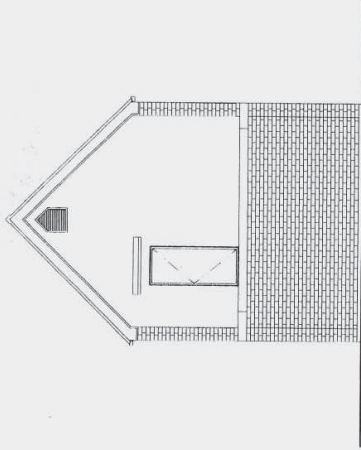
テラスの撤去
雨除け新設



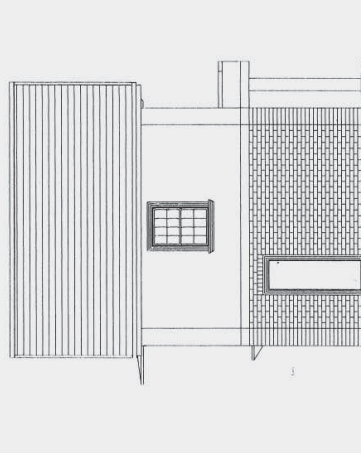
立面図



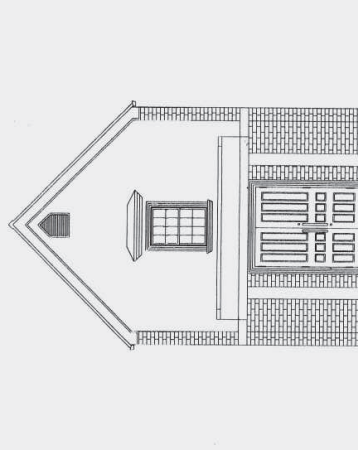
東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



株式会社堀池工務店 一級建築士事務所
 横浜市鶴見区生麦1-15-9 TEL (045)501-5850 FAX (045)511-2655

承認

設計

担当

縮尺

S=1/100

工事名称

生麦事件参考館

立面図

設計年月日
 令和 6年11月15日

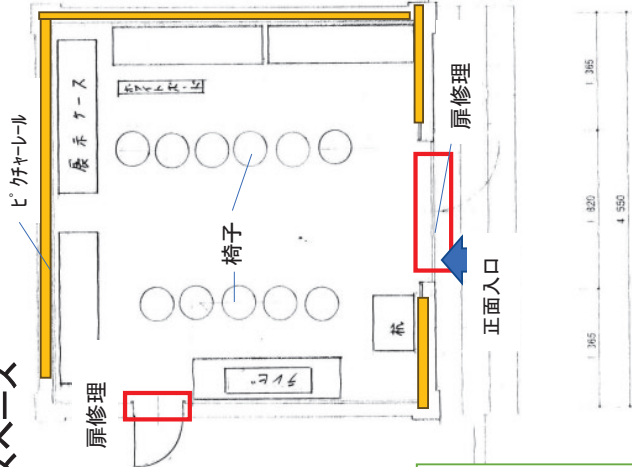
図面名称

立面図

No. 01

完成予想図

1 階資料展示スペース



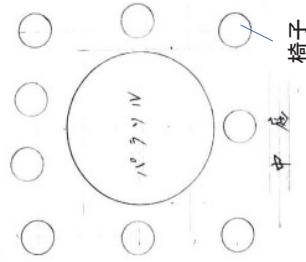
1階は基本の構造は変更なし。真ん中では10数名の子どもが説明を聞けるよう椅子を置く。壁面にピックチャャーレールを取り付ける。
 展示は定期的に交換し、余裕を持って見学できるようにする。テラス部分は撤去するが、雨よけを付け、入口脇に告知スペースを設置。
 看板は付けられるよう工夫する。

ピックチャャーレール

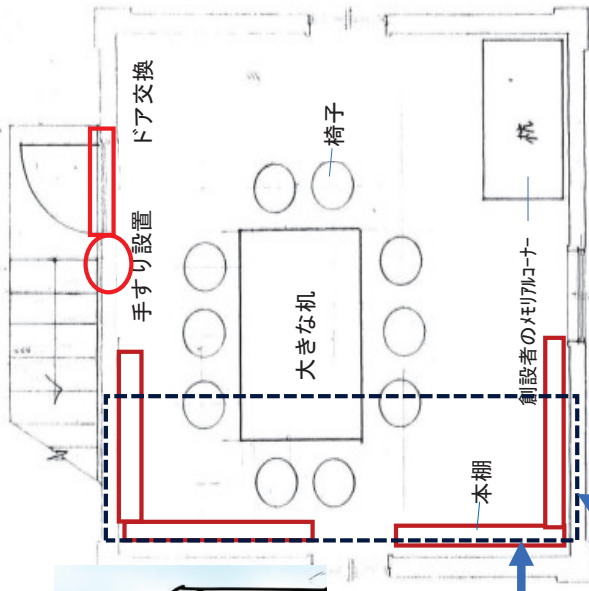
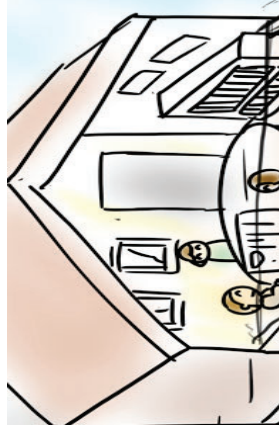
母屋軒下



中庭



2 階交流スペース



・2階の入口部分には手すりを付けるとともに、ドアを交換し安全に配慮する。
 ・本棚を作り付け、保管庫を新設することで余裕を持って使えるよう変更。

保管庫はこの場所の上辺りに板を渡して収納

母屋軒下では「軒先ギャラリー」のためにピックチャャーレールを設置する。軒下は場所が空いている時は、子どもたちの作業スペースにと考えている。トイレについては検討中。
 中庭は、駐車スペースをとる必要が生じたため、大きく変更。花壇を撤去するとともに、整地し、駐車部分と仕切りを行う。
 日よけのパラソルを置き、皆でおしゃべりをしたりゆっくりと過ごせる場所にした。

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
仮設工事（足場掛払い）	屋根及び外壁塗装用	一式		990,000	
1階外部・裏階段修繕	テラス撤去・雨除け新設・掲示スペース設置	各1ヶ所		1,362,000	
各所ドア交換工事	1階扉2ヶ所、2階1ヶ所	3ヶ所		1,128,000	
正面入りロタイル取替	破損部分のみ交換・滑止め施工	一式		270,000	
内装工事	母屋軒下ピックアップレール取付、1階壁面補強しピックアップレール取付・水漏れ部壁修復・2階固定本棚や保管庫設置	レール5カ所・壁は状況次第で修理箇所増加		354,000	
電気設備工事	照明器具交換・空調修理	1・2階とも		420,000	
中庭工事	花壇撤去・整地・駐車部分と仕切り	各一箇所		198,000	不要物撤去・コンクリ部分以外はDIY
諸経費	二階入り口に手摺、入口に看板	各1ヶ所		420,000	看板製作はDIYも検討 (経費節約)
合 計				5,142,000	

1次コンテスト以降の活動内容

(1)プロジェクトの運営

メンバー全員が集まって企画内容や役割分担を検討する「PJT会議」と、会場確保・連絡・議題整理・資料準備等を行なう「事務局会議」で話し合いながら活動を進めて来た。

◎事務局会議

*5回開催 7/30・8/16・9/17・10/12・11/12

*次のPJT会議に提案する内容を事前に検討・整理。9月以降は地域担当者2名を決めて地域にプロジェクトを知ってもらい、地域の声を広く集める努力を行なった。

(実践例)

- ・空き店舗の利用について商店会や店主と折衝
- ・生麦事件を色々な形で伝えるために地域の人材発掘（嘶家さんとの交渉）

◎PJT会議

*4回開催 8/22・10/1・10/17・11/14

*10月以降の会議では、報告や確認の時間を短くして各自の「やってみたいこと」を出し合ってどう実現していくのか議論する時間を増やした。話し合いは「参考館内の企画」「地域との協働」「参考館の管理・運営」の3グループに分かれて行った。

(以下実践例)

- ・自治会長会や鶴見区内校長会への挨拶の日程をすぐに設定
- ・地域ではボランティアをやってみたいという声がたくさんあることがわかる

(2)広報活動

◎イベントに参加してチラシ配布・アンケート調査を実施

*三ツ池フェスタ(10/15) 小学生が生麦事件についての感想メモをたくさん書いてくれた

*夢ひろば in 總持寺(11/3) ブースで質問に対応・アンケート実施 再開館歓迎の声多数

- ・歴史資料の保管に専門知識を持つ大学教授がボランティアを申し出る
- ・ブラジルから帰国中の雑誌編集者が「今度横浜の記事を作るが、生麦や花月園等色々なことをもっと知りたい」とプロジェクトメンバーと名刺交換

*生麦 de 事件DA(11/23) ボランティア募集の宣伝実施

◎歴史講座で周知

*寺子屋環塾(11/5) 講座終了後、受講生が講師席に来て「事件は我が家の前で起きたので色々調べている」と話しかけてきた。

*生麦地区センター歴史講座(11/27) 創設者の知り合いの人が、何度も来館して事件についての感想を文章化したことを語ってくれた。講座は新情報・人材に触れる機会と実感。

◎その他

*web ニュース編集者との話し合い、近日発売の「地球を歩く」に記事掲載、NHKドキュメント番組作成者の取材

*鶴見区内小学校校長会で挨拶(10/10) その後、小学校6年生対象の出張授業の話し

*横浜東ロータリークラブ卓話(11/8) 出席者から資金的な見通しについてアドバイス

(3)地域との連携

◎追悼祭参列(8/21)、13町会会合で挨拶(9/25)、近隣の挨拶回り(11/5)

◎具体的な働きかけ

*参考館ボランティアの説明会 どのような仕事があるかを洗い出して、年内に一度実施

*史跡散策の実施 12月にはコースを決めて下見を実施 新アイデアが一杯出る話し合い

・定点ガイド(動かずに自身の暮らしている地域の説明)

・歴史的事実を踏まえながら参加者を楽しませるガイド 休憩時には<名物>を賞味

*イベントで売る「押し」菓子 地域のお菓子屋さん・パン屋さんと相談

*自治会役員がボランティアで小学生に生麦事件を教えている

その経験を聞き、小学生向けのテキストを一緒に創って行きたい

☆任意資料として、具体的な内容、写真やアンケート結果は添付

1. 整備後の生麦事件参考館

◎週間予定（開館日）

月	火	水	木	金	土	日	臨時開館
		開館 10:00~16:00			開館 10:00~16:00	開館 10:00~16:00	地域イベント・長期休暇中・予約 10:00~
		staff在室			staff在室	staff在室	staff在室

※staff PJTメンバー+地域ボランティア(事前の指導・解説マニュアル準備)

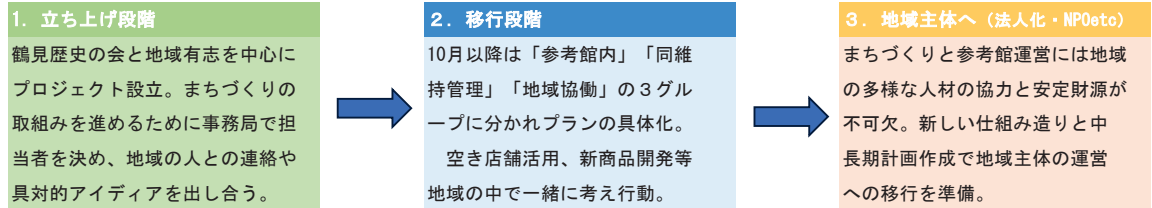
※臨時開館 イベント時(主催者と協議して対応) 来館者増が見込まれる時(夏休みの自由研究等)

◎年間活動計画

1月	2月	3月	4月	5月
七福神巡り		子どもフェスティバル		
←大人(幕末旅企画・募集・準備)→実行		←子ども(地域探検企画)→	←幕末旅実施→	←子ども(内容決定)→
展示・解説		(展示替え)	展示・解説	
6月	7月	8月	9月	10月
◎蛇も蚊も	◎ふるさと岸谷祭り	◎旧東海道祭 追悼祭	◎生麦deまちゼミ	
←子ども(募集・探検実行)→		←学生と自由研究→	←幕末旅II企画・募集準備→/子ども(クイズ等作成)	
展示・解説		(展示替え)	展示・解説	
11月	12月	㊤ 地域行事等 参考館は積極的に参加(形態・内容は主催者と協議して) ㊤ 参考館自主事業 (例) 大人企画・子供企画 (pdca、自主性) ㊤ 展示室 開館日は展示・解説 展示は3ヶ月毎に入替え 2階“生麦base” 誰もが自由な発想でやりたいことにチャレンジ		
生麦de事件DA/旧東海道祭り				
←事件DA参加→ ←幕末旅II実施→				
		(展示替え)		

◎運営体制

(PJTから地域へ)



◎運営資金収支予算

(1ヶ月)

【収入の部】	
入館料	40,000 子ども100人 大人150人
個人協賛金	30,000 月300円 100人
企業協賛金	12,500 月500円 25件
雑収入	7,500 資料販売・歴史講座等
	90,000 ※協賛金は年一括

【支出の部】	
人件費	30,000 2人(週3日・月4週@6h) 1人(適宜相談 @3h)
維持管理費	30,000 光熱・水道料金等
事務費	20,000 印刷代・通信費・広報費・消耗備品購入
予備費	10,000 イベント参加費・保険等
	90,000

◎来館者の増加

(見込み)

- 要因① 小学校教科書から「生麦事件」削除 現行学習指導要領は「身近な地域などに見られる諸現象を…歴史とつながっていることを理解(高等学校)と記す→学校関係の来館者は増加
- 要因② 来館者名簿に県外来館者が目立つ→地域を越えた情報発信で広報(webニュース編集者等と提携予定)
- 要因③ 春秋の日曜や祭日のJR鶴見駅・京急鶴見駅には旧東海道散策の小グループが集合→再開館を知らせれば必ず立ち寄る

2. 参考館再開館とまちづくり…新しい居場所づくり、新しいつながり



11月23日(土)、京急生麦駅東西2商店街を会場に「第6回生麦de事件DA」が開催された。左のチラシは第1回のもので共催に「生麦事件参考館」がある。今年、目にとまったものはプロレスのリングで歌い踊る南米系の女性に合わせてリズムをとる観客の姿で多文化共生が進んでいることを実感。鹿児島産焼酎の販売や試飲、英国ビールの販売—鹿児島(薩摩)や英国は生麦事件のキーワード。地域を越えた交流が既に芽吹いていた。



会場に貼られたメモの作成には参考館館長も協力



空き店舗には休憩所の貼紙 他の空き店舗では子どもがお菓子の販売員

空き店舗の活用はPJTでも大きな課題、そのヒントもあった。駅前にメモ(クイズ)の集約所。クイズ出題やメモの集約に場所の提供…参考館と地域の協力・協働には大きな可能性があることを確信した「第6回生麦de事件DA」。

★生麦事件参考館リユースプロジェクトは「企画」を地域と一緒に考え、それぞれの得手を活かした協働でまちづくりを発展させる。



プロジェクト会議



所有者と話し合い



現地視察



リニューアル工事検討会

つるみ夢ひろば in 總持寺 文化ゾーン 11/2～11/4 總持寺三松閣で



パネル展示・チラシ配布・リユースプロジェクトの説明・アンケート実施



生麦事件追悼祭に参加 8月21日



“開国起源 生麦”

地元商店会とのコラボ企画
地域のお菓子屋さんに、開国最中、開国まんじゅう、開国サブレー、パン屋さんに、開国あんぱん、開国ドーナツなどを共同企画・創案して、生麦地区の年中行事（お祭りやイベント）に参考館プロジェクトとして出店し販売する。参考館中庭ひろばでも行事に合わせて企画展示をする。

地元の飲食店などでもそれぞれ開国メニューを創案して、日本の開国、近代化は生麦から始まり、「生麦事件碑」「生麦事件顕彰会」「生麦事件参考館」が国際交流の大切さを伝えるつづけていることを地域全体で共有しアピールする。

商店街スタンプラリー

商店会と協力し「生麦ごばなしシリーズ」を作り、地域の商店を利用するスタンプラリーを企画運営する。楽しみながら地域に親しむ！

生麦事件参考館は、生麦事件について小学生が学ばない、児童クラブや地域の活性化につなげていく拠点にしてゆきたい。

軒先ギャラリー・テラスステージ・中庭ひろばの活用

地区内の小学校や地域全体で60年以上支え続けている「生麦ひまわり児童クラブ」など地域の児童クラブと連携し、小学生たちが地域の歴史や暮らしを学ぶ場として活用する。

江戸時代の街並みや屋号・絵地図、史跡案内板などを活用し、子どもたちが町の由来や伝承・年中行事・小学校・交通の変遷・地域の寺社仏閣・海や川・石碑などについて、両親や祖父母、地域の高齢者などから聞き取りをする。絵や文章にまとめてパネルを作成し、軒先ギャラリーに展示し、テラスステージで発表する。寸劇や動画にまとめてもいい。

中庭ひろばの観覧席には、聞き取り調査に協力した高齢者をはじめ、地域の人たちが気軽に参加し、子どもたちの発表をまわく。発表後には、おやつを食べながら、子どもたちと大人たちが歓談しながら、世代間交流や地域の人々同士の交流を深める。

子どもたちは、祖父母や高齢者から、地域の歴史や文化、町の成り立ちについて直接聞いたことで、自分たちの調べたことが展示されたり、発表したりすることで、自分たちの住んでいる生麦への郷土愛を深めていく。

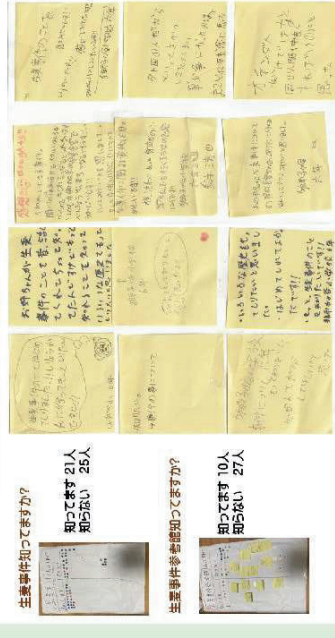
生麦事件参考館を地域全体の活性化につなげていく拠点として、子どもたちが選んだテーマに詳しく高齢者などの紹介や資料の提供、助言などをすることで、地域住民が集い、語り合いながら、埋もれた歴史を掘り起こしながらより豊かな地域文化を育む拠点とする。



各所でチラシ掲示



10月13日(日) 三ツ池公園 つるみワークスペースにて



- 感想!! thoughts 今、初めて知った生麦事件。聞いたことはあるけど、くわしくは知らなかったもので、しれるとなるとうれしです。しかも本物の公式の参考館で勉強できることなるとなるとすごい行ってみてみたいです。そして本物の絵やいろいろな事件に関する資料を見たいです!! 横浜市にあって身近なのに学校でも行くそうなので、楽しみです!!
- お姉ちゃんが生麦事件のことを昔、話してくれてちょっと知ってたんですけど、もっと知れることを知って、いろいろな歴史をもっと知りたいです!!
- 知りた。もって知りたい!! 事件のことについて
- 事件のことはじめて知りました!! 知りた!! 行ってみたい!!
- 生麦事件のことはじめて知りました!! 行ってみたい!!
- みんなで行ってみたい!!
- 事件のことはじめて知りました!! 行ってみたい!!
- いろいろな歴史をもっと知りたい!!
- あ有名な生麦事件についての資料館なので、横浜に住んでる人として行ってみたい!!
- 事件についても知りたい!!
- 外国人の人だからって差別してしま、戦争になったのはまことに残念に思う。オランダ人だけでなく同じ人間、仲よくすずばい!!

(●餅子ヶ谷小6年生 ●豊岡小5年生)

ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 生麦事件参考館リユースプロジェクト	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① 展示計画について現段階の考えを教えてください	展示計画 常設展示（生麦事件関係）と年3回交替する企画展示（“現在と過去の対話”という視点）に分けて計画しています。中学生が見て分かる内容を意識して展示します。
② 開設時はスタッフが常駐するとのことですが、スタッフのためのスペースはどのように考えていますか。	スタッフのスペース 来館者に直接対応（受付・解説・救護等）するため1階に机・椅子を準備します。交替で休憩をとれるように2階にも机・椅子を準備します。開設時には中庭も開園し、スタッフの負担が増えますのできちんとしたシフトを検討します。
植松委員	
① 1階については現地視察に寄せていただいた折、兎に角たくさんものがある！という印象で、どれが大切なものなのか判然としない、という感じでした。1回の展示物を思い切って全物品の4分の1に絞り、週替わりで1か月かけて全物品を展示公開するなど、展示品の整理調整をされてみてはいかがでしょうか。	展示品の整理 PCで資料検索ができるように 参考館資料整備グループ （現在6人）はデータベース作成の準備をしています。事件関係の古文書・地図・写真・絵画・新聞記事等は時系列を追って常設展示します。企画展示では、「なぜ今生麦事件を学ぶのか」が解るように資料を整理展示します。 資料は内容・形態に応じて整理・保管を行ないます。御用留・手紙類など一次資料はガラスケース内で公開、写真・絵画・新聞記事は必要な補修を行ったうえで公開。図書類は配架・書庫保管に分類する予定です。 なお、資料の分類・整理を行なう際は創設者浅海氏の想いも反映させて進めたいと考え、ご遺族の立会をお願いする予定です。
② 2階は逆に、浅海氏の思い出と生前の功績を感じる場所として、余り手を入れてしまって雰囲気を変えてしまうよりも、今でもちょっと待てば浅海氏が帰って来そうな雰囲気を大切にすることで、氏の功績を偲ぶ手がかりとする場所として生かすことが望ましいので	2階の使い方 改修の際には、建物全体は現状の雰囲気を残しながら、来館者の安全・各スペースの有効活用・建物の維持を優先基準にします。 2階の一角に浅海氏の使用机や文具などを残し、壁面に功績を示す表彰状や新聞記事を掲示します。室内中央には大型机を置いて交流の場にします。 具体的には…

<p>はないかと思いますが、どうお考えでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * サークルや小グループの打合せ・作業、住民のしゃべり場 * スタッフの打合せや実務、来館者の質問等に対応する場 * 子どもの溜り場 Namamugikids・生麦 base・生麦探偵団（仮称） やりたいことにチャレンジする workshop 企画の条件は「生麦事件」「生麦」を Keyword にすること クイズ・カルタ・マップ作製、塗り絵コンテスト、お店紹介、地域イベント・workshop 参加 子どもたちは開館前に募集 * 情報発信の場 参考館の企画、地域話題を適宜発信、地域ボランティアを募集
<p>③ 駐車場や中庭などのアレンジ（整備や活用の内容）について詳細を教えてください。</p>	<p>駐車場・中庭 中庭に仕切りを設けて母屋で使用する車の駐車スペースを確保します。それ以外のスペースは更地（芝生）にして椅子・卓を準備して誰もがゆったり過ごせる場にします。仕切りは子どものアイデアを活かせるスペースとして活用します。</p>
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
<p>① 中庭は駐車場スペースをとる必要があるため、と記載されているが、資料館用の中庭として利用できるのはどのくらいのスペースなのでしょう？また駐車場は、来館者用でしょうか？</p>	<p>利用できるスペース 中庭で利用できるスペースは乗用車 2 台分です。近隣の人が立ち寄ってお喋りをする、保育園児が散歩途中に休んで行く…そのような場に予定。来館者用駐車場は設けません（近隣駐車場を案内） 中庭に立ち寄った人たちが安らぐことができるアイデアを地域から募集します。 * 鉢植えの花を並べて目を楽しませる、パラソルをおいて日陰で休憩、お茶やコーヒーを飲みながらお喋りする等々</p>
杉崎委員	
<p>① 整備に伴い、資料の展示内容や方法をどのように更新するのか予定を教えてください。</p>	<p>資料の展示内容・方法 古文書類はガラスケース内に収納展示、絵画・写真・新聞記事は壁面に展示。常設展示の内容も適宜見直します。企画展示は「今なぜ生麦事件か？」という内容を考えさせる視点で年 3 回交替していきます。</p>
鳥海委員	
<p>① 入館料に関して、次世代に語り継いでいく歴史、多世代交流の場として、高齢者は無料、小学生 100 円、高校生以上 200 円という設定に決めた理由を教え</p>	<p>入館料設定の根拠 横浜市開港資料館の高校生以上 200 円、小中学生は 100 円という事例を参考にし、高校生以上 200 円、以下は 100 円としました。高齢者については</p>

てください。	100 円に変更することを考えています
② 次世代に歴史を語り継ぐために、自分のお金を持っていない子は来ることができない(知ることができない)と思ってしまわないために、考えている工夫はありますか？	子どもを悩ませない工夫 運営スタッフに歴史に関心のある子どもたちに参加してもらう予定です。子どもならではの自由な発想で活動を進めてもらいたいと考えています。メンバーの入館料は無料とします。 *グループ名は子どもたちが決める
肥後委員	
① 土地・建物所有者の方と管理上の取り決めをしていますか？	現在は鍵の開閉・管理は事務局で行ない、入館の場合には土地・建物所有者に事前報告することを決めています。将来的には、更に具体的な取り決めをします。
② 整備場所を借りるにあたって、家賃等は発生しますか？	今後も無償でお借りできることになっていますが、入館料の一部を光熱費に充てて頂くなど検討します。
③ 収支計画を教えてください。入館料などの収入で、施設の維持管理は可能ですか？	収入は最小に、支出は最大に見積もり月 9 万円の収支計画を作りました。入館料のみで施設の維持管理は難しく、個人・団体・企業から協賛金を募ります。なお平成 29 年～令和 4 年までの入館者は 740 名(年 247 名)でしたが再開後は入館者数が大幅に伸びる見込みがあります。
④ 安定的運営まで何年くらいを想定していますか？	1 年目は参考館をアピールし、2 年目は地域との協働を広げ、3 年目には安定的運営を実現します。最初は歴史の会等を中心とした現メンバーで運営しますが、適宜、地域のボランティアを募り担い手を増やしていきます。
松村委員	
① 参考館は、なぜ地域の人から愛されてきたのでしょうか？	参考館が地域に愛された理由 参考館で貴重な資料を無料公開、事件説明板設置、生麦事件碑顕彰会と慰霊祭催行、各地での講演活動等浅海氏の情熱や思いが実を結び、多数の見学者が生麦を訪れました。地域でも近代化の出発点となった事件を誇りとし、参考館を地域の大切な施設として親しむようになりました。
② 安定的に協賛金を集められるアテはありますか？	協賛金のアテ 自治会・商店会会員や PTA 役員の協力で自治連合会・ロータリークラブ・校長会で参考館の説明をした際には協賛企業の紹介も受けました。学校関係や雑誌社の問い合わせも増え協賛を得られると確信しています。
③ 地域の交流拠点としての機能を持たせるとして、それをこの資料展示スペースの上につくるメリットはどこにあり	交流拠点を置くメリット 異文化の出会いから起きた生麦事件は多文化共生・相互理解の大切さを教えます。参考館を多様な

ますか？

人が暮らす生麦地域の、互いを理解し合い、温かく活気あるまちづくりを進める交流拠点の一つとして地域の中で育てて行きたいと考えています。

*子どもたちが1階で学んだことを2階で紙芝居等にまとめ、地域のイベントの際に中庭で発表する。「事件について学び、伝える場所」だからこそ多様な取り組みが可能になると思います。

*「散歩班」が検討している地域散策ツアーや、タクシー会社が企画している観光タクシー等でも参考館を中心にツアーを実施することで生麦の街への理解が深まり、愛着を醸成することができると考えています。